

# みどりとともに

第 19 号

2010年 1月 1日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸1丁目3番2号

林業会館3階



## ❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ.....	2
奥久慈グリーンライン林道「北吉沢下野線」が竣工.....	3
水戸市における森林整備.....	4
第46回全国林材業労働災害防止大会を実施.....	5
協会だより.....	6~7
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会が林野庁へ要望を行う 日本林道協会通常総会開催される	
協会の主な動き.....	8



## 新年のごあいさつ



(社)茨城県治山林道協会会長 山口 伸 樹

明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、8月の総選挙において政権交代となりましたが、新政権により年末に閣議決定された新年度政府予算案で、林野庁関係一般公共事業費について見ますと対前年度比28%減となっており、極めて厳しい状況となっております。

近年、列島各地で毎年のように台風や集中豪雨等による大小様々な山地災害が多発しております。本県においては、幸いなことに最近は、大きな山地災害等もなく、治山事業に対する関心は薄れがちですが、常に山地災害に備えて治山対策を進め、県民の

安全・安心を確保することが重要であります。

また、林道は、森林を健全に整備・保全するうえで必要不可欠であるとともに、山村地域の活性化と生活環境の改善にも繋がる重要な施設であり、計画的に整備する必要がございます。

このような状況から、当協会としましては、中央協会を中心に各都道府県協会と連携して事業が円滑かつ効果的に推進するよう使命を果たして参る所存でございます。さらに、当協会を取り巻く環境が、事業量の減少などにより一段と厳しさを増しておりますので、今後の協会運営や活動のあり方等についても、公益法人制度改革と併せて検討を進め適切に対応して参りますので、本年も一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ



茨城県農林水産部長 永見 基 定

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新春をお迎えのことと、謹んでお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国政では歴史的な政権交代が行われ、新政権は、2020年まで温室効果ガス削減目標を90年比で25%削減という高いハードルを打ち出し、国内外の注目を集めた年でありました。

こうした中、国においては、京都議定書の森林吸収目標1,300万炭素トンの達成に向けて、「コンクリート社会から木の社会へ」と森林・林業政策の改革を掲げ、路網整備や集約化施業の加速化による効率的な森林整備と間伐材等の安定供給や、国産材を活用するための加工流通における構造改革などを推進することとしております。

一方、県におきましては、県民の皆様方のご理解とご協力をいただいで創設した「森林湖沼環境税」を活用し、「森林環境保全のための適正な森林整備の推進」、「いばらき木づかい運動の推進」、「県

民協働による森林づくりの推進」を三つの重点事項として、森林の保全・整備等に取り組んでいるところでございます。森林整備や木材利用の推進には、木材生産など林業経営の低コスト化に資するため、その基盤である路網の整備が今後ますます重要になってきておりますので、市町村や森林組合などと連携を図りながら計画的な基盤整備に取り組んでまいりたいと考えております。

また、治山事業につきましては、森林の公益的機能の維持・向上等を通じて、山地災害などから県民の安全・安心な生活を守る事業でございますので、今後も計画的な実施に努めてまいります。

最後に、本県の森林を林業の活性化を図り、緑の循環システムの構築と機能豊かな森林の創出するため、今後も各種の施策を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸をご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

# 奥久慈グリーンライン林道 北吉沢下野宮線が竣工

茨城県県北農林事務所林務部門大子分室

奥久慈グリーンライン林道は、大子町、常陸太田市、常陸大宮市にまたがる奥久慈地域における森林・林業の活性化や生活環境の改善及び都市との交流による山村振興などを目的に、9路線、総延長約71kmが計画されておりますが、このうち5路線について平成7年度から整備を始まりました。

北吉沢下野宮線は、延長3,945m、幅員5mの舗装した林道で、平成8年度に事業に着手して以来、14年間の歳月と約22億4百万円の工事費を投入し、地権者をはじめ工事関係者など多くの皆様方のご協力により無事竣工することができ、平成21年11月19日に竣工式典を開催しました。奥久慈グリーンライン林道の完成路線としては、常陸大宮市の諸沢線、照山線に次いで3路線目となりました。



テープカット

竣工式典は、北吉沢地内の現地において、主催者である橋本昌茨城県知事、綿引久男大子町長をはじめ、来賓として久慈郡選出の石井邦一茨城県議会議員、三次真一郎常陸大宮市長、梅原勤常陸太田市副市長、地元町議会議員など関係者約60名の出席のもと、主催者あいさつ、来賓祝辞に続きテープカットや、大子町の木である「ブナ」の記念植樹などが行われました。

当該路線は、福島県境に位置しており、複雑な地質や急峻な地形が多いため、施工面では片栈橋での施工や法面保護にアンカー工法や大型ブロックを取り入れております。さらに、県産木材の活用を促進する観点から、木製ガードレールや切土法面保護に丸太伏工を導入したり、支障木を粉碎しウッドチップにして残土処理場の浸食を防止するために利用しています。



北吉沢下野宮線と間伐実施状況

この路線は、昨年度から導入した「森林湖沼環境税」などを活用した間伐の推進をはじめ、県産材の利用を促進するうえでも重要な役割を果たすものと期待されております。

さらに、新観瀑台の設置より観光客が増加している袋田の滝をはじめ、八溝山など豊かな自然環境や地元食材などの地域資源を活かした広域周遊観光の一翼を担うものと考えております。

今後は、現在工事を進めております、大子町小生瀬から常陸太田市上高倉町を結ぶ水根持方線と常陸太田市の武生線についても、早期完成に向けて引き続き整備を推進してまいります。

町から  
村から

## 水戸市における森林整備

～森林公園を主体にして～

水戸市産業経済部農政課

水戸市は平成17年2月に東茨城郡内原町と合併し市域が拡大しました。

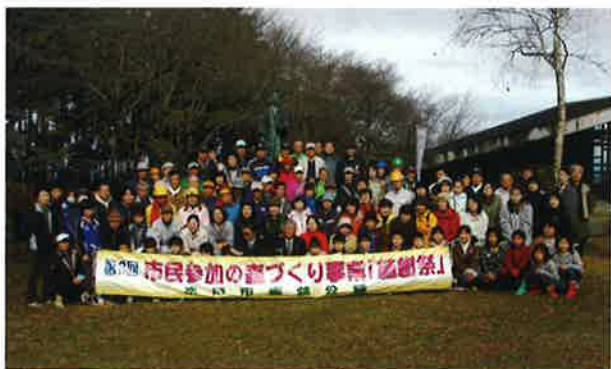
市の北部はひたちなか市、那珂市、城里町に接し、東部は大洗町、南部は茨城町、西部は笠間市というように周囲を6つの市町村に囲まれています。

全体の地形は南部および東部の平地、中央部の台地、北西部の丘陵地に分けられます。

市の総面積は21,743haで県内44市町村のうち第7位に位置しています。

森林面積は約3,300haで森林の占める割合は15.1%となっており、茨城県の森林率30.8%の約半分となっており、人口は約26万4千人、世帯数10万8千戸は県内第1位であり、農家数3,800戸は県内第3位になります。

森林は市の北西部に集まっており、丘陵地には森林公園やゴルフ場が点在しております。こうした中で林道金山線、学校山線、全隈・成沢線の3路線があります。平成20年度からは面積約144haある森林公園の利用上重要な学校山線を大型自動車安全に通れるように計画的に改良工事を行っております。



第3回市民参加の森づくり事業「植樹祭」

市民参加の森づくり事業として、平成19年度から松くい虫により枯損した松林跡地の復旧を図るため、植樹祭形式により、抵抗性アカマツ苗やクヌギ、ヤマザクラ、エノキ、ヤシャブ

シなど広葉樹の植林を体験していただいております。

また、森づくり体験といたしまして、植樹祭で植栽した林の下刈り作業や、スギやヒノキの枝打ちや間伐作業、さらには学習塾の児童を対象とした課外授業や薪割り、ドラムカンを使ったピザ焼きなど多様な体験の場を提供しております。



森づくり体験「間伐作業」

具体的な事業名をあげますと、林道改良、市民参加の森づくり、松くい虫地上散布、松くい虫被害木伐倒駆除、松林保護樹林帯緊急造成、平地林保全整備、森林整備地域活動支援事業などを行っております。

これらの事業を通して、水資源のかん養や二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止の促進に努めると共に、森林公園としての役割を十分に発揮し森林セラピーの場、保健休養の場の提供など森林の持つ公益的な機能を発揮できるよう努めております。

これらの事業や体験をとおして森林に対する市民の意識の向上に努めるとともに、今後も関係機関や市民との連携を一層深めながら森林の整備を進めてまいります。

森林ネットワーク

# 第46回全国林材業 労働災害防止大会を実施

林材業労働災害防止協会茨城支部

林業・木材製造業における労働災害は、依然として発生頻度が高い状況にあります。

このようなことから、労働災害撲滅への意識を喚起するため平成21年10月1日、全国から関係者1,454人の参加のもと、水戸市の茨城県立県民文化センターにおいて全国林材業労働災害防止大会を開催いたしました。

はじめに、大会アトラクションとして、県立大洗高等学校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」のシャープな動きによる演奏と、茨城県民舞協会と金沢はるみさんによる民謡と踊りを披露し、大会を大いに盛り上げました。



開催地あいさつをする打越支部長

式典は、来賓として厚生労働大臣・林野庁長官・茨城県知事・水戸市長にご臨席をいただき、それぞれにご祝辞をいただきました。その後、林材業界における労働災害防止活動に貢献された事業場・個人に対して表彰が行われ、本県関係では、7事業場と2人の方が受賞されました。

表彰式のあと、厚生労働省労働基準局安全衛生部長の平野良雄氏が「最近の労働安全衛生の動向について」と題して講演を行いました。

体験・事例の紹介では、県内事業体を代表して美和木材協同組合生産係長の野口隆氏が「高性能林業機械の積極導入とリスクアセスメントの定着により、ゼロ災害を目指す」と題し、高性能林業機械による作業の効率化を図りながらリスクアセスメントを導入し、労働災害防止の



表彰を受けた方々

## 本県関係受賞者

表彰区分	受賞者名
事業場賞（優良賞）	酒井建設（株）
	（有）皆川製材所
	（有）岩瀬製材所
	（資）浅川木材
	（有）丸宮木材
	（有）岩瀬材木店
	（株）須田材木店
個人賞（功労賞）	安 島 健
感謝状	関 義 昭

取組についての事例発表を行いました。

さらに、特別講演では、水戸史学会理事・事務局長の但野正弘氏が「若き日の水戸黄門」と題して光圀の幼少時の腕白期、反省と立志を体験した青年期、大日本史の編纂に力を尽くした壮年期など光圀の実像についての講演には多くの方が関心を寄せられたと思います。

最後に、この大会に県内外各地から多くの関係者にご参加をいただき盛大に開催されましたことを厚くお礼申し上げます。

## 協会だより

### 1. 関東甲静地区治山林道協会連絡協議会が 林野庁へ要望を行う

平成21年6月25日(木)、埼玉県飯能市で開催された、第30回関東甲静地区治山林道協会連絡協議会通常総会において、各都県協会から提案された要望を「平成22年度治山事業及び林道事業についての要望書」として取りまとめ、8月31日(月)に林野庁へ関東甲静地区協会(1都8県)の代表者が直接要望を行いました。

要望事項は次のとおりです。

#### 【治山事業 要望事項】

1. 治山事業の予算枠の拡大
2. 治山事業の採択基準の緩和
3. 治山・治水対策のより一層の充実
4. 危険地マップの充実
5. 民有林直轄治山事業の充実
6. 漁場保全関連特定森林整備事業の対象事業枠の拡大
7. 海岸防災林造成事業の予算枠の拡大

#### 【林道事業 要望事項】

1. 林道事業予算の確保
2. 林道事業の補助率アップと林道開設事業の採択要件の緩和
3. 道整備交付金の交付要件の緩和
4. 林道維持管理を確保するための新たな改良事業の創設
5. 定額化された低コスト作業路の運用の緩和
6. 中・大径木の木製構造物標準設計の拡充
7. トンネル・橋梁など重要構造物の改修にかかる予算枠の確保

#### 【治山・林道事業共通事項】

1. 森林環境税の創設
2. 工事の事前着工制度及び調査等業務の前年度実施制度の創設

#### 《要望先》

林野庁長官、次長、林政部長、林政課長、  
森林整備部長、計画課長、整備課長、治山課長

#### 《要望参加県》

- (社) 埼玉県治山林道協会  
(社) 山梨県治山林道協会  
(社) 静岡県山林協会  
群馬県治山林道協会  
(社) 栃木県治山林道協会  
神奈川県森林協会  
(社) 千葉県治山林道協会  
(社) 茨城県治山林道協会  
東京都治山林道協会

### 2. 日本林道協会通常総会開催される

平成21年度の日本林道協会通常総会が平成21年11月17日(火)午後1時から、東京都千代田区の東京商工会議所ビル4階の「東商ホール」において、全国の協会関係者など多数出席の中、盛会に開催されました。



挨拶をする山口俊一会長

総会は山口俊一会長（衆議院議員・徳島県協会会長）が議長となり、議事進行を行い原案のとおり可決承認されました。

総会の前には（社）日本治山治水協会、日本林道協会共催の平成21年度治山・林道コンクールの表彰式が行われました。

本県からは8月に当協会主催で開催された茨城県内の民有林治山・林道関係コンクール審査で優秀な成績をおさめたものを推薦した結果、治山木材使用工事コンクールにおいて、茨城県鹿行農林事務所林業振興課主任の戸谷昌美さん設計の「生活環境保全林整備事業第1-5号」が周辺環境と調和して地域材を有効に利用したことが評価され、林野庁長官賞を受賞しました。

なお、治山・林道コンクールの各部門の受賞者は次のとおりです。

【治山・林道コンクール受賞者】

《治山木材使用工事コンクール》

☆林野庁長官賞

茨城県鹿行農林事務所林業振興課

主任 戸谷 昌美

工事名

平成20年度 生活環境保全林整備事業  
第1-5号 （行方市手賀地内）



生活環境保全林整備事業第1-5号

《治山工事コンクール》

☆（社）日本治山治水協会会長賞

大森建設（株）代表取締役 大森 利一郎  
工事名

平成19年度繰越 復旧治山事業第2号  
（大子町中郷地内）



復旧治山事業第2号

《林道維持管理コンクール》

☆日本林道協会会長賞

笠間市長 山口 伸樹

路線名 今泉吾国線（笠間市今泉地内）



今泉吾国線

○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

- 7月7日  
第1回茨城県森林整備加速化・林業再生基金  
事業推進協議会(水戸市)  
7月9日～10日  
役員現地研修会(長野県)  
7月13日  
第1回森林土木工事担当者技術研修(大子町)  
7月14日～16日  
治山林道コンサル技術研修会(東京都)  
7月22日  
林業関係団体懇談会(水戸市)  
7月29日  
公有林野全国協議会通常総会(東京都)
- 8月3日  
第15回県関係団体役員等懇談会(水戸市)  
8月22日  
北浦広葉樹の森下刈り体験(行方市)  
8月25日  
茨城県民有林治山・林道関係コンクール  
審査委員会(水戸市)  
8月31日  
関東甲静地区常勤役員会議及び平成22年度  
治山林道事業中央要望活動(東京都)
- 9月7日  
いばらき森林の感謝祭2009実行委員会  
第1回総会(水戸市)  
9月8日  
第46回関東・中部地区治山林道研究発表会(富山県)  
9月17日  
(社)日本治山治水協会通常総会(東京都)  
9月25日  
第46回全国林材業労働災害防止大会  
茨城県実行委員会第2回幹事会(水戸市)  
9月28日  
9月期公益法人定例講座(東京都)
- 10月1日  
第46回全国林材業労働災害防止大会(水戸市)  
10月4日  
第33回全国育樹祭(長崎県)  
10月6日  
第2回森林土木工事担当者技術研修(那珂市)  
10月14日  
10月期公益法人定例講座(東京都)  
10月20日  
いばらき森林の感謝祭2009実行委員会  
第2回総会(水戸市)

- 10月24日  
いばらき森林の感謝祭2009(水戸市)  
10月27日  
公益法人制度改革対応実務研修(水戸市)  
10月29日～30日  
北関東治山林道協会連絡会議(大洗町)
- 11月14日  
県民参加の森づくり推進事業(城里町)  
11月17日  
日本林道協会理事会・通常総会  
治山・林道コンクール表彰式(東京都)  
11月27日  
第2回 理事会(水戸市)
- 12月7日  
公益法人制度改革セミナー(水戸市)  
12月10日  
12月期公益法人定例講座(東京都)  
12月11日  
第2回茨城県森林整備加速化・林業再生基金  
事業推進協議会(水戸市)  
12月17日  
いばらき森林の感謝祭2009実行委員会  
第3回総会(水戸市)

今後の予定

- 1月14日  
個人情報保護法に関する説明会  
1月22日  
平成22年林業団体合同新年の集い  
1月28日  
全国治山林道協会会長会議  
1月29日  
公益法人制度改革セミナー

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号  
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「冬の筑波山」(つくば市)  
佐藤征男氏撮影